

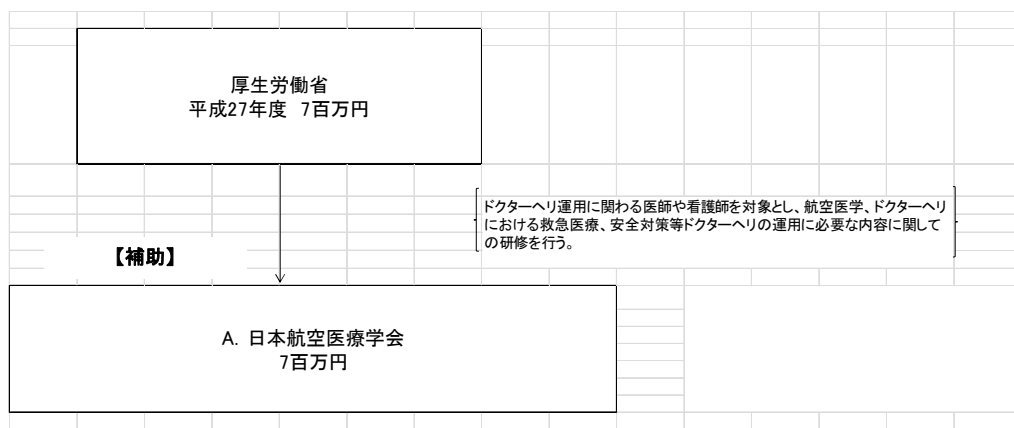
平成28年度行政事業レビューシート（厚生労働省）

事業名		ドクターヘリの導入促進		担当部局庁	医政局			作成責任者			
事業開始年度		平成21年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課 救急・周産期医療 等対策室			室長：伯野 春彦		
会計区分		一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		救急医療用ヘリコプターを用いた救急医療の確保に 関する特別措置法(平成19年6月27日法律第103号)			関係する計画、 通知等	救急医療対策事業実施要綱					
主要政策・施策		-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)		ドクターヘリという特殊な場所において高度な救急医療を提供できる医師・看護師等を育成する。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)		ドクターヘリ運用に関わる医師や看護師を対象とし、航空医学、ドクターヘリにおける救急医療、安全対策等ドクターヘリの運用に必要な内容に関しての研 修									
実施方法		委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)				25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		予算 の状 況	当初予算	3	7	7	7	7			
			補正予算	-	-	-	-				
			前年度から繰越し	-	-	-	-				
			翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
			予備費等	-	-	-	-				
		計	3	7	7	7	7				
		執行額	3	7	7						
執行率(%)	100%	100%	100%								
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標		成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
		ドクターヘリ1機当たりの平 均搬送件数を前年度以上 とする		ドクターヘリ1機当たりの平 均搬送件数	成果実績	回	482.6	514.6	集計中	-	-
					目標値	回	438.1	482.6	514.6	-	精査中
					達成度	%	100	100	-	-	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
		ドクターヘリ従事者研修の実施回数		活動実績	回	1	2	2	-		
				当初見込み	回	1	2	2	2		
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
		ドクターヘリ従事者研修受講状況		活動実績	人	86	154	145	-		
				当初見込み	人	90	180	180	180		
単位当たり コスト		算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
		単位当たりコスト=X/Y X: 執行額 Y: 研修実施回数		単位当たり コスト	百万円	3	3.5	3.5	3.5		
				計算式	X/Y	3百万円/1	7百万円/2	7百万円/2	7百万円/2		
平 成 2 8 ・ 2 9 年 度 予 算 内 訳 (単 位 : 百 万 円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	衛生関係指導者養成等委 託費		7	7							
計		7	7								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること										
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標Ⅰ－1－1)										
	政策評価	測定指標	定量的指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度	
									－年度	28年度		
			心肺停止者の一ヶ月後の生存率		実績値	%	11.9	12.2	集計中	－	－	
					目標値	%	11.5	11.9	12.2	－	精査中	
			定量的指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度	
									－年度	28年度		
	アクション・プログラム	改革項目	社会復帰率		実績値	%	7.9	7.8	集計中	－	－	
					目標値	%	7.2	7.9	7.8	－	精査中	
			本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
			ドクターヘリという特殊な場所において高度な救急医療を提供できる医師・看護師等を育成することにより、救急患者の早期治療が可能となり、心肺停止者の一ヶ月後の生存率と社会復帰率が向上される。									
			分野:	－		－						
			(第1段階) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度
								－年度			－年度	－年度
成果実績				－	－	－	－	－	－			
(第2段階) KPI			KPI (第二階層)			単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度	
							－年度			－年度	－年度	
	成果実績		－	－	－	－	－	－				
目標値		－	－	－	－	－	－	－				
達成度		%	－	－	－	－	－	－				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
－												
事業所管部局による点検・改善												
国費投入の必要性	項 目				評 価		評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○		救急医療は、国民が安心して暮らしていく上で、欠かすことができないものであり、国費を投入して実施すべきである。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○		救急医療の充実を図っていくためにも、引き続き国の施策として実施すべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○		ドクターヘリの導入機数は増加している中で、それに伴いドクターヘリという特殊な場所で医療を提供できる救急医療従事者を養うことは重要であることから、優先度が高い。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				△		ドクターヘリに搭乗する救急医療従事者が、より実践的かつ安全性に配慮した環境で行える体制整備等が必要であることから研修内容や実施体制等の事業の質の面で委託先の選定を行う企画競争方式で事業者を募集している。					
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				有							
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。				○		受益者との負担関係は特に問題ないものと考えている。					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○		事業の実施に必要な最低限の経費しか計上しておらず、事業コストの水準は妥当である。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				－		－					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○		事業実施後の実績報告書において、費用・使途が事業目的に即したものであるか確認を行っている。					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				○		成果実績は目標に見合ったものであると考えている。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				－		－					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				○		活動実績については、見込みに見合ったものであると考えている。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				－		－					
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				○		事業番号003－1のドクターヘリの導入促進(統合補助金分)については、ドクターヘリを導入した都道府県、又は都道府県の要請を受けてドクターヘリを導入した救命救急センターに対して、運行経費等の財政支援を行うことで、ドクターヘリの導入を促進する事業である。そのため、本事業の事業内容とは重複しない。					
	所管府省・部局名	事業番号	事業名									
	厚生労働省医政局	003－1	ドクターヘリの導入促進(統合補助金分)									
	－	－	－									
点検・改善結果	点検結果	ドクターヘリに搭乗する医師や看護師等に高度な救急医療を提供するための研修を実施することにより、ドクターヘリの安定的かつ迅速な運航に寄与することができることから、1機当たりの平均搬送件数は平成25年度は482.6回、平成26年度は514.6回と伸びている。また、当該研修については、受講希望者の状況等を踏まえ、平成26年度より研修実施回数を年2回に増やしたことにより、受講者は140人を超えており、また、ドクターヘリの導入機数は年々増加していることから、ドクターヘリに搭乗する医師、看護師を今後も養成していく必要がある。										
	改善の方向性	受講希望者の状況等を踏まえ、平成26年度から研修実施回数を2回に増やすことにより受講者を増やしている、引き続き、適切な予算執行に努めていく。										

外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	点検結果も妥当であり、ドクターヘリ1機当たりの平均搬送件数や研修受講生も増加傾向にあり、一定の成果が出ていることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	25	平成23年度	24	平成24年度	25	
平成25年度	39	平成26年度	44	平成27年度	47	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.日本航空医療学会			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	庁費	ヘリコプター借用費・会場借料等	4.4			
	旅費	講師旅費	2			
	諸謝金	講師謝金	0.8			
	計		7.2	計		0

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本航空医療学会	-	ドクターヘリ従事者研修の実施	7.2	随意契約 (企画競争)	1	-	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-	-	-	-	-